

授業科目	倫理と哲学	1～2 学年・後期・2 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	船木 祝 (教育研究棟 IC703 号) e-mail : s.funaki@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員			
概要	<p>近年、医科学や医学的治療はめざましい進歩をする一方で、患者は幸福を願って、よい治療を求める心の問題を抱えている。こうした人々が期待する恩恵と同時に、直面する問題点を理解するために、まず、医療倫理の歴史を学び、次に、不治の病、延命、不妊治療をめぐる日本および世界の動向を学ぶ。また、話題になっている医療記事を取り上げ、倫理的問題点を指摘し、海外と日本の現状を比較する。</p> <p>患者の多様な人間観、生命観、死生観を深く理解できるように、古今の哲学思想家たちの人間、生命、死についての考え方を学ぶ。また、近代以降発達した科学技術、そして人間性、さらにはケアの思想についての哲学思想家の考えを学ぶ。</p> <p>各人は自分の意見を持つだけでなく、グループ討論をする中で、多様な意見に触れ、多角的な思考能力を身につける。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療倫理の歴史について説明できる。</li> <li>2. 話題になっている医療記事における倫理的問題を説明できる。</li> <li>3. 安楽死、尊厳死をめぐる海外と日本の現状を比較し、課題の発見、解決方法の提案をすることができる。</li> <li>4. 生殖補助医療をめぐる海外と日本の現状を比較し、課題の発見、解決方法の提案をすることができる。</li> <li>5. 人間の知識、幸福、愛、悪、自由、技術、人間性といったテーマについての哲学思想家の考えを説明できる。</li> <li>6. 様々な価値観と突き合わせ、自分の考えを修正・拡張できる。</li> <li>7. 多様な人間観、生命観、死生観を理解し、患者及び家族との良好なコミュニケーションをすることができる。</li> </ol>		
関連科目	看護倫理、法学と日本国憲法		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	筆記試験	70%	その他：授業中に行うグループ討論への参加状況、もしくは授業内レポート
	その他	30%	
教科書	指定なし		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>①盛永審一郎・長島隆 [2013 年・2,600 円] 「看護学生のための生命倫理」 丸善出版</li> <li>②関東医学哲学・倫理学会 [2013 年・2,600 円] 「新版医療倫理 Q&amp;A」 太陽出版</li> <li>③船木祝 [2020 年・2,000 円] 「響き合う哲学と医療」 中西出版</li> </ol>		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、プリントを配布する。</li> <li>・生命倫理に関するメディアの情報に関心を持つ。</li> <li>・紹介された図書に目を通す。</li> </ul>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	生命倫理が創始された背景	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	講義	船木
2	伝統的倫理学との違い	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
3	安楽死をめぐる国際的議論	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃

4	尊厳ある死とは何か	事前：予習プリント読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
5	緩和ケアにおける諸問題	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
6	人工妊娠中絶と体外受精をめぐる問題の概観	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
7	代理出産をめぐる諸問題	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
8	ゲノム解析と着床前診断	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
9	医療安全と哲学	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
10	家族等の死と哲学	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
11	ベーコンの科学技術についての考え方	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
12	カントの「自律」の思想	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
13	ベンサムとミルの功利主義	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
14	マルティン・ブーバーの「対話の哲学」	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
15	コールバーグの「人間性の発達」とギリガンの「ケアの思想」	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃